

第2期越生町人口ビジョン【概要版】

1. 人口ビジョンとは

人口推移が与える様々な影響について分析するとともに、人口に関する認識を住民と共有し、今後目指すべき将来の方向性と人口の将来展望を示すものです。

2. 人口動向の状況

①人口の推移（図1）

本町の人口は、平成12(2000)年まで増加。以降は減少に転じ、平成27(2015)年時点で11,716人となっている。

②自然動態の推移（図2）

平成15(2003)年から出生数は減少傾向、平成16(2004)年から死亡数は、150人前後に増加。近年は100人前後のマイナス超過。

③社会動態の推移（図3）

平成14(2002)年以降は転出超過が続いている。平成30(2018)年は72人の転出超過となっており、近年では、ほぼ横ばい。

3. 目指すべき将来の方向

- ①若者の結婚・出産・子育てを支援
- ②里山の魅力を活かした定住促進
- ③観光資源を活用したまちのPR
- ④越生町の産業を育てる
- ⑤安心できる生活環境を整備

4. 人口の将来展望（図1）

- ・ 合計特殊出生率を令和17(2035)年に1.45、令和42(2060)年に1.92まで回復
- ・ 転出超過の年代を令和22(2040)年までに0.5倍に縮小
- ・ さらに子育て世代の移住を毎年6世帯(20歳後半から30歳代の夫婦と14歳未満の子ども2人)を見込む

令和12(2030)年 9,034人
 令和22(2040)年 7,161人
 令和42(2060)年 3,949人



9,800人
 8,500人
 6,400人

